

平成22年度 シラバス	学年・期間・区分	1年生・通年・A群
	対象学科・専攻	機械・電気電子・電子制御・情報・都市環境デザイン
世界史 (World History)	担当教員	鮫島 俊秀 (Sameshima, Toshihide)
	教員室	一般科目棟3階 (TEL 42-9045)
	E-Mail	t_samesi@kagoshima-ct.ac.jp
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義 / 履修単位 / 2単位	
週あたりの学習時間と回数	授業 (100分) × 30回	
〔本科目の目標〕 世界の歴史を学ぶことにより21世紀を生きる社会人として必要な常識の基本を身に付けるとともに、バランスのとれた国際感覚を養う。		
〔本科目の位置付け〕 小・中学校で学んだ歴史を土台とし、地理と同時履修する。本科目及び2年次の歴史、倫理、政経は互いに有機的に関連し、補完しあうものであり、一般常識の基礎となるものである。		
〔学習上の留意点〕 教科書の配列を基本としながらも、本科目のねらいを踏まえ、テーマを精選する。時事問題も適宜扱っていくため、配布する資料等も有効に活用すること。また、授業のスピードアップのため、オリジナルの授業プリントも使用する。		
〔授業の内容〕		
授 業 項 目	時限数	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標
1. 原始	8	人類の発達段階と社会の形成過程を理解することができる。 (歴史の学び方についての導入も含む)
2. オリент	8	オリエンの古代文明、ユダヤ通史を理解することができる (古代 現代、「シンドラーのリスト」)
--- 前学期中間試験 ---	2	授業項目1および2について達成度を確認する。
3. ヨーロッパ	10	ギリシア、ローマ・キリスト教の概要を理解することができる。
--- 前学期末試験 ---		授業項目3について達成度を確認する。
4. インド	8	インドの古代国家、仏教、ヒンドゥー教の概要を理解することができる。
5. イスラム	8	イスラム教、イスラム諸国家の概要を理解することができる。
--- 後学期中間試験 ---	2	授業項目4および5について達成度を確認する。
6. ヨーロッパ (概説)	4	ゲルマン民族移動以後のヨーロッパ社会の概要を理解することができる。
7. その他	10	現代社会を生きるうえで必要なテーマ史、時事問題について理解を深めることができる。
--- 後学期末試験 ---		授業項目6および7について達成度を確認する。
試験答案の返却・解説		試験答案の解説を行なうことで、誤った部分を理解できる。
〔教科書〕「新選 世界史B」(東京書籍)		
〔参考書・補助教材〕「新選 図説世界史」(東京書籍)		
〔成績評価の基準〕定期試験成績 (60%) + レポート (40%)		
〔本科 (準学士課程) の学習教育目標との関連〕 1-a, 4-b		
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕		
〔JABEEとの関連〕		